



# 臨床ストレス応答学会

The Biomedical Society for Stress Response

## BSSR NEWS LETTER No. 13

2018. 6.15

### 第 12 回臨床ストレス応答学会大会開催報告

第 12 回大会長 柴田 亮行（東京女子医科大学医学部病理学第一講座）

2017 年 11 月 4～5 日、東京女子医科大学河田町キャンパス臨床講堂 I において、第 12 回臨床ストレス応答学会大会が開催された。本学会は 1990 年代、熱ショック応答に関心を抱く複数の大学と研究所の研究者たちが定期的に集会を催していたストレス蛋白研究会を母体とし、2005 年に学会昇格を果たして以来 12 回目の大会を迎えることとなった。研究会の立ち上げには、総合診療科前教授の野村馨先生も関わっており、創生期の会場に使われた臨床講堂 I に再び足を踏み入れた古参の先生方から昔を懐かしむ声が聞かれた。

現在、本学会を構成するメンバーは医歯薬農工理学部系出身者を中心として多岐に亘っており、小規模ながら年に一度の大会には全国から意欲に満ち溢れた若手からベテランまでの多様な研究者が集結し、発表のみならず熱い質疑応答を繰り広げる。我々が常日頃参加する医学系の学会や研究会では、狭い専門領域の研究者のみが集まるといふ事情も手伝って、とかく閉鎖的で堂々巡りの状況に陥りがちである。一方、本学会は非常に学際的な性格をもっているため、素朴な疑問を晴らすための鋭い突っ込みやそれに対する反論によって沸き起こるインパクトとインスピレーションが参加者を大いに刺激する。

今回は、シンポジウム 1 『神経変性疾患における異常蛋白質の毒性、蓄積および伝播』ならびにシンポジウム 2 『鉄過剰ストレスに起因する疾病病態』というこれまでにない斬新な切り口の目玉企画を用意した。各研究領域のトップリーダーから最新知見が紹介され、新鮮な話題をもとに活発な意見交換がなされた。ランチョンセミナーでは、岐阜大学医学部神経内科教授の下畑享良先生をお招きし『脳梗塞に対するトランスレーショナルリサーチ —アカデミア発創薬の課題—』について語っていただいた。特別講演では、カリフォルニア大学サンディエゴ校教授で脳腫瘍分子病理学の世界的権威であるポール・ミシェル博士をお招きし、微小環境ストレスに呼応して腫瘍細胞が治療抵抗性を獲得してゆく詳細なメカニズムについてお話しいただいた。また、本年度の若手研究奨励賞候補者にエントリーした 27 名の中から、以下の 5 名が受賞者に選ばれ、懇親会で授与式が行われた。

(1) 田中昌子氏（早稲田大学先進理工学部生命医科学）

『Hsp72 による SDF-2 の安定化はオキサリプラチン耐性の維持に重要である』

## *The Biomedical Society for Stress Response*

(2) 村尾直哉氏 (宮崎大学医学部機能生化学)

『成体ニューロン新生を介した記憶学習制御における小胞体品質管理機構の役割』

(3) 米田明弘氏 (北海道大学産学・地域協働推進機構 FMI 推進本部難治性疾患治療部門)

『癌細胞における HSP47 の IRE1 $\alpha$  活性調節機構』

(4) 小野喜章氏 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科歯科薬理学)

『口腔扁平上皮癌細胞由来エクソソームに含まれる分子シャペロンについての検討』

(5) 山下薫氏 (東京女子医科大学医学部内科学第二講座)

『心不全における副腎 B3 アドレナリン受容体を介した新たなアルドステロン産生機序』

惜しくも受賞を逃した演題の多くもクオリティーの高いものばかりであった。このように若手研究者がしのぎを削る場は、今後の研究の発展に繋がるものと確信される。一般演題は、炎症、加齢などを含む多岐に亘るジャンル別セッションに振り分けられ、いずれのセッションでも活発な質疑応答が繰り広げられた。今回は地の利も相俟って例年より多い 111 名もの参加者数に恵まれ盛況だった。次年度、北海道小樽市で開催される予定の第 13 回大会へ向けて大きな弾みとなれば幸いである。



## 臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞

2017年度第6回若手研究奨励賞は、鳥越俊彦選考委員長をはじめとする4名の選考委員の厳正な審査のもと、以下の5名の先生が選ばれ、懇親会において授賞式が行われました。

### ～基礎系～

田中 昌子（早稲田大学理工学術院 先進理工学部 生命医科学科）  
「Hsp72によるSDF-2の安定化はオキサリプラチン耐性の維持に重要である」

村尾 直哉（宮崎大学医学部機能生化学講座）  
「成体ニューロン新生を介した記憶学習制御における小胞体品質管理機構の役割」

米田 明弘（北海道大学 フード&メディカルイノベーション推進本部 難治性疾患治療分野）  
「癌細胞におけるHSP47のIRE1 $\alpha$ 活性調節機構」

### ～臨床系～

小野 喜章（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科歯科薬理学）  
「口腔扁平上皮癌細胞由来エクソソームに含まれる分子シャペロンについての検討」

山下 薫（東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科）  
「心不全における副腎 $\beta$ 3アドレナリン受容体を介した新たなアルドステロン産生機序」

### 2017年度 若手研究奨励賞選考委員

鳥越 俊彦（札幌医科大学）選考委員長  
足立 弘明（産業医科大学）  
田村 保明（北海道大学）  
松岡 雅人（東京女子医科大学）

## 第 13 回臨床ストレス応答学会大会のご案内

本年度、第13回臨床ストレス応答学会大会を小樽市のホテルグランドパーク小樽で開催させていただくことになりました。大会長としてご挨拶申し上げます。

細胞ストレス応答は、原核生物から真核生物にいたるまですべての生物に保存された基本的な細胞機能であり、その障害は神経変性疾患、がん、免疫疾患、動脈硬化・代謝疾患、精神疾患など、さまざまなヒト疾患の病態に関わっています。本学会は1996年に由良隆先生（京都大学名誉教授）が立ち上げられた臨床ストレス蛋白質研究会が前身となり、細胞ストレス応答の生理機能とその破綻が原因となるヒト疾患病態の解明という目標に向かって多様な分野の基礎・臨床研究者が交流を深め、創薬へ貢献することをめざす学会として設立されました。

前身を含めると23回目となる本大会では、細胞ストレス応答の関わる重要な生命現象として細胞老化、生体防御機能として免疫、疾患病態としてがん、の3点にフォーカスを絞り、特別講演と2つのシンポジウムを企画しました。特別講演には、著明な免疫学者であるカリフォルニア大学バークレイ校のNilabh Shastri教授をお招きし、“Immune surveillance under stress”のタイトルでご講演いただきます。またシンポジウム1・2では、「がん・免疫と細胞ストレス応答」および「細胞ストレスと細胞老化」をテーマとして、それぞれ4名のシンポジストによる最新知見の講演と討論が行われます。

一般演題は基本的にすべて口頭発表とし、若手研究奨励賞候補者にはポスター討論も行っていただきます。今年度も5名の若手研究者に授与する予定ですので、多数の応募をお待ちしております。参加者の皆様には、会議だけでなく運河の街、小樽を楽しんでいただければ幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

平成30年6月吉日

第13回臨床ストレス応答学会大会長

札幌医科大学医学部病理学第一講座

教授 鳥越 俊彦

*The Biomedical Society for Stress Response*

会期：2018年10月26日（金）、27日（土）

会場：グランドパーク小樽

小樽市築港 11-3

<https://grandparkotaru.com>

39歳以下の若手研究者による優れた研究を表彰し奨励する目的で、「臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞」を選考いたします。

詳細は演題申込方法をご覧ください。また、下記の特別講演1題、シンポジウム、ランチョンセミナーを予定しています。

### 特別講演

10月26日（金）午後

Nilabh Shastri 教授 「Immune surveillance under stress」

(Department of Molecular and Cell Biology University of California, Berkley, USA)

### シンポジウム

10月26日（金）午後

「がん・免疫と細胞ストレス応答」

村上 正晃（北海道大学遺伝子病制御研究所・分子神経免疫学）

鵜殿 平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・腫瘍制御学）

田村 保明（北海道大学産学・地域協働推進機構・難治疾患治療部門）

江口 傑徳（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・生体薬物制御学）

10月27日（土）午後

「細胞ストレスと細胞老化」

中西 真（東京大学医科学研究所・癌防御シグナル分野）

山下 孝之（群馬大学生体調節研究所・遺伝子情報分野）

中井 彰（山口大学大学院医学系研究科・医化学分野）

西頭 英起（宮崎大学医学部・機能制御学講座・機能生化学分野）

一般演題募集： **演題応募締切：2018年8月24日（金）**

演題申し込み要領は学会ホームページをご覧ください。

<http://bssr.jp/endai/>

### 大会事務局：

第13回臨床ストレス応答学会大会事務局

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

札幌医科大学医学部病理学第一講座 内

Tel: 011-611-2111（内線26910） Fax: 011-643-2310

e-mail: BSSR@sapmed.ac.jp

### 学会事務局：

札幌医科大学医学部病理学第一講座内

Tel: 011-611-2111（内線26910） Fax: 011-643-2310

e-mail: BSSR@sapmed.ac.jp

## *The Biomedical Society for Stress Response*

大会参加費： 一般 5,000円 学生 2,000円  
学会当日、受付にてお支払いください。

### 事前参加申込方法：

参加登録は大会ホームページから登録してください。

<http://bssr.jp/endai/>

**事前参加申込締切：2018年10月12日（金）**

### 演題申込方法：

本学会の一般演題発表者としてのお申込みは、一人一題に限られます。ただし、他の演題の共著者になることは差し支えありません。また、発表者は本学会員に限ります。申込みには事前参加登録及び年会費の振込みが必要です。

演題申し込み要領は下記大会ホームページをご覧ください。

<http://bssr.jp/endai/>

**演題申込締切：2018年8月24日（金）**

### 若手研究奨励賞について：

臨床ストレス応答学会では、若手研究者による優れた研究を表彰し奨励する目的で、「臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞」を設けます。応募資格・応募方法・選考方法・授賞式に関する詳細は下記の通りです。

- 応募資格: 第13回臨床ストレス応答学会大会当日(2018年10月26日)において、39歳以下の若手研究者。
- 応募方法: 演題応募時、抄録ファイルに「若手研究奨励賞に応募する」と記載すること。
- 選考方法: 若手研究奨励賞への応募演題は大会中に口演およびポスター形式でご発表いただきます。抄録と発表内容を4名の選考委員が審査し、5名程度の受賞者を選出します。
- 授賞式 大会1日目(10月26日)の懇親会において、大会長より賞状並びに副賞(賞金)が授与されます。

*The Biomedical Society for Stress Response*

**大会実行委員：**

委員長：鳥越 俊彦（札幌医科大学医学部病理学第一講座）

**委員：**

青江 知彦（帝京大学ちば総合医療センターペインセンター）

鵜殿 平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻）

田村 保明（北海道大学産学・地域協働推進機構難治疾患治療部門）

徳永 文稔（大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学）

中井 彰（山口大学大学院医学系研究科医化学分野）

永井 義隆（大阪大学大学院医学系研究科神経難病治療学）

樋口 京一（信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野）

養王田 正文（東京農工大学大学院工学府生命工学専攻）

横田 伸一（札幌医科大学医学部微生物学講座）

（五十音順）

**大会事務局：**

第13回臨床ストレス応答学会大会事務局

〒060-8556

札幌市中央区南1条西17丁目

札幌医科大学医学部病理学第一講座 内

Tel: 011-611-2111（内線26910） Fax: 01-643-2310

e-mail: BSSR@sapmed.ac.jp

学会役員・幹事・評議員

学会役員（2018年4月1日～2020年3月31日）

会長	鳥越 俊彦	（札幌医科大学医学部 教授）
副会長	徳永 文稔	（大阪市立大学大学院医学研究科 教授）
総務	永井 義隆	（大阪大学大学院医学系研究科 教授）
会計	親泊 政一	（徳島大学先端酵素学研究所 教授）
広報	足立 弘明	（産業医科大学医学部 教授）
企画	鶴殿 平一郎	（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授）
企画	中井 彰	（山口大学大学院医学系研究科 教授）
企画	養王田 正文	（東京農工大学大学院工学府 教授）
企画	横田 伸一	（札幌医科大学医学部 教授）
監事	柴田 亮行	（東京女子医科大学医学部 教授）

アドバイザー	永田 和宏	（京都産業大学総合生命科学部 教授）
	佐藤 昇志	（札幌医科大学医学部 名誉教授）
	野村 馨	（大月市立中央病院）
	田中 啓二	（東京都医学総合研究所 所長）
	伊藤 英晃	（秋田大学大学院理工学研究科 教授）

学会幹事

青江 知彦	帝京大学ちば総合医療センターペインセンター
足立 弘明	産業医科大学医学部神経内科学講座
跡見 順子	東京農工大学工学府材料健康科学
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
伊藤 英晃	秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻
今泉 和則	広島大学大学院医歯薬保健学研究院基礎生命科学部門分子細胞情報学
鶴殿 平一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座免疫学分野
大塚 健三	中部大学応用生物学部
親泊 政一	徳島大学先端酵素学研究所生体機能学分野
甲斐 広文	熊本大学大学院医学薬学研究部先端生命医療科学部門分子機能薬学講座
久保田 広志	秋田大学大学院工学資源学研究科・工学資源学部生命化学科基礎生命化学講座
佐藤 昇志	札幌医科大学医学部
佐野 元昭	慶應義塾大学医学部循環器内科
柴田 亮行	東京女子医科大学第一病理
祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御
高橋 良輔	京都大学附属病院神経内科
田村 保明	北海道大学フード&メディカルイノベーション推進本部難治性疾患治療分野
徳永 文稔	大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
鳥越 俊彦	札幌医科大学医学部病理学第一講座
内木 宏延	福井大学医学部分子病理学



## *The Biomedical Society for Stress Response*

中井 彰	山口大学大学院医学系研究科医化学分野
永井 義隆	大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座
永田 和宏	京都産業大学総合生命科学部生命システム学科
西頭 英起	宮崎大学医学部機能生化学
野村 馨	大月市立中央病院総合診療
原 勲	和歌山県立医科大学医学部泌尿器科学教室
樋口 京一	信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野
藤田 潤	幸生会琵琶湖中央病院診療部
堀 修	金沢大学医薬保健研究域医学系神経分子標的学講座
松岡 雅人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生（一）
森 和俊	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室・ゲノム情報分野
山本 雄造	秋田大学医学系研究科消化器外科
養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻
横田 伸一	札幌医科大学医学部微生物学講座
涌井 秀樹	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻疾患生物学的研究室

以上 35 名（五十音順）

## 学会評議員

青江 知彦	帝京大学ちば総合医療センターペインセンター
秋吉 一成	京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻生体機能高分子分野
足立 弘明	産業医科大学医学部神経内科学講座
跡見 順子	東京農工大学工学府材料健康科学
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
伊藤 英晃	秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻
今泉 和則	広島大学大学院医歯薬保健学研究院基礎生命科学部門分子細胞情報学
岩脇 隆夫	群馬大学・先端科学研究指導者育成ユニット
鶴殿 平一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座免疫学分野
江口 傑徳	岡山大学大学院医歯薬総合研究科歯科薬理学分野
及川 大輔	大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
大塚 健三	中部大学応用生物学部
親泊 政一	徳島大学先端酵素学研究所生体機能学分野
小山田 正人	藤女子大学人間生活学部食物栄養学科
甲斐 広文	熊本大学大学院医学薬学研究部先端生命医療科学部門分子機能薬学講座
勝野 雅央	名古屋大学大学院医学系研究科神経内科
金関 貴幸	札幌医科大学医学部病理学第一講座
木村 洋子	静岡大学大学院農学研究科応用生物化学専攻
久保田 広志	秋田大学大学院工学資源学研究科・工学資源学部生命化学科基礎生命化学講座
桑田 一夫	岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科
小亀 浩市	国立循環器病研究センター分子病態部
後藤 知己	熊本大学教育学部養護教諭養成課程
小林 正伸	北海道医療大学看護福祉学部生命基礎科学講座
笹栗 靖之	産業医科大学第二病理学
佐藤 昇志	札幌医科大学医学部

## *The Biomedical Society for Stress Response*

佐野 元昭	慶應義塾大学医学部循環器内科
佐原 弘益	麻布大学獣医学部
柴田 亮行	東京女子医科大学第一病理
祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御
高橋 良輔	京都大学附属病院神経内科
田中 啓二	東京都医学総合研究所
田村 保明	北海道大学フード&メディカルイノベーション推進本部難治性疾患治療分野
田村 裕	千葉大学大学院医学研究院
千葉 進	札幌山の上病院神経内科臨床脳神経研究施設
徳永 文稔	大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
鳥越 俊彦	札幌医科大学医学部病理学第一講座
内木 宏延	福井大学医学部分子病理学
中井 彰	山口大学大学院医学系研究科医化学分野
永井 義隆	大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座
永田 和宏	京都産業大学総合生命科学部生命システム学科
西田 憲生	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野
西頭 英起	宮崎大学医学部機能生化学
野村 馨	大月市立中央病院総合診療
原 勲	和歌山県立医科大学医学部泌尿器科学教室
樋口 京一	信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野
久枝 一	群馬大学大学院医学系研究科国際寄生虫学分野
久留 一郎	鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻遺伝子再生医療学講座再生医療学分野
藤木 幸夫	九州大学大学院理学研究院生物科学部門
藤田 潤	幸生会琵琶湖中央病院診療部
古橋 真人	札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座
堀 修	金沢大学医薬保健研究域医学系神経分子標の学講座
増本 純也	愛媛大学大学院医学系研究科ゲノム病理学分野
松岡 雅人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生（一）
水内 将人	札幌医科大学医学部産婦人科学講座
森 和俊	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室・ゲノム情報分野
山田 健人	慶應義塾大学医学部病理学教室
山本 雄造	秋田大学医学系研究科消化器外科
養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻
横田 伸一	札幌医科大学医学部微生物学講座
吉田 賢右	京都産業大学工学部生物工学科
吉森 保	大阪大学微生物病研究所
六反 一仁	徳島大学大学院医歯薬学研究部病態生理学分野
涌井 秀樹	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻疾患生物学研究室
和田 郁夫	福島県立医科大学医学部附属生体情報伝達研究所細胞科学研究部門

以上64名（五十音順）

*The Biomedical Society for Stress Response*

~ Cell Stress Society International からのお知らせ ~

**IXth International Congress on Stress Responses in Biology and Medicine  
San Diego, California, November 10-14, 2019.**



*Main entrance to congress hotel, [Catamaran Resort Hotel & Spa](#) shown above.*

Registration opens March 1, 2019

**Principal Organizer:** Professor Antonio De Maio

**Co-organizers:** Cristina Bonorino, Helen Neumann, Larry Hightower

**Keynote Speakers: To be announced**

**Accepted speakers: To be announced**

～ 事務局からのご連絡 ～

入会手続き：

学会ホームページから手続きをお願い致します。

<http://bssr.jp/nyukai/>

年会費：

一般会員 5,000 円

学生会員 3,000 円

企業賛助会員 50,000 円

以下の郵便口座へお振込ください。

加入者名：臨床ストレス応答学会

口座番号：02730-3-64452

大会ポスターについて：

第 13 回臨床ストレス応答学会大会のポスターを事務局に用意しております。できるだけ多くの基礎・臨床研究者に参加していただくため、ポスターを配布して宣伝していただきますようお願い申し上げます。事務局まで必要枚数をお知らせ下さい。

\*\*\*\*\*

臨床ストレス応答学会事務局

〒060-8556 札幌市中央区南 1 条西 17 丁目

札幌医科大学医学部病理学第一講座内 金関貴幸

TEL: 011-611-2111 (内線 26910) FAX: 011-643-2310

e-mail: [BSSR@sapmed.ac.jp](mailto:BSSR@sapmed.ac.jp)

ホームページ：<http://bssr.jp>